

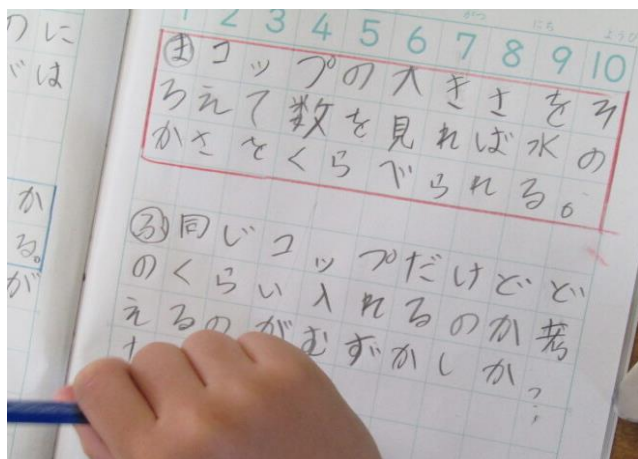


学びに向かう力の涵養

～質の高い教育 サステイナブルな社会をめざして～

第2学年 研究授業

算数「 単元名 ～水のかさのたんい～」



個別最適な学び

振り返りの視点を使って、自分の言葉で学習の振り返りができていたか。

「次の学習で使えそうだ」「生活で生かせそう」など前向きな振り返りができていた。

カリキュラム・マネジメント

長さの学習経験や普段の生活体験を活かして、思考・判断・表現ができていたか。

失敗経験が非常に良かった。

なぜ比べられないのか、言語化できなくても、気づくこと（変だなと感じること）が重要で生活体験がよく活かされていた。

GIGA スクール構想

少人数形態での発表を通して自分の考えを主体的に伝えていたか。

（ホワイトボードの活用）

ホワイトボードは必要であったか協議にて検討された。ICT活用で写真撮影でもよかったのではないかと意見が出された。

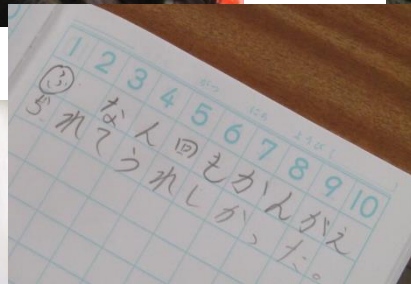


成果

実物を用いた算数的活動は、粘り強く取り組む姿勢に大きくつながった。失敗経験が「どうしてこうなるのだろう」という疑問を生み、繰り返し試行錯誤を重ねる姿につながった。少人数グループでの活動によって全員が自分の考えを発信する機会が確保され、「学ぶことが楽しい」という意欲付けにつながっていた。

課題

単元の導入であることから既習事項が中心だったため、考えに広がりが見られなかった。既習事項を活かすために、「これまで～学習してきた」「今日の学習に似ている学習ってなんだろう」と既習事項の想起場面があるとよかった。



授業の板書

⑤ どちらの入れものが、たくさん
の水が入るだろうか。←

←
カップの大きさが違う。←
入れものの大きさが違う。←

⑥ どうすれば、水のかさをくらべ
られるだろうか。←

⑦ カップの大きさをそろえる。←
入れものから入れものにうつしか
える。←
見た目では何となく←

⑧ カップの大きさをそろえ
て数を見れば、水のかさがく
らべられる。←

←
カップの大きさをそろえた。←
やかんの方が多く入る。←